



# お守りの力



karinomaki

## 自分だけのお守り

---

世の中には、たくさんのお守りがありますが、この文章で書きたいのは、物のことではありません。信じる心の作り方です。

## 自分を守る力

---

私は、基本的に、人からもらったものは、本当のお守りにならないと思います。概念というものは、自分の考え方で形成されるからであって、人にしてもらうことではないからです。

## カントとモーツァルトのお守り

---

カントは哲学者で、モーツァルトは作曲家でした。カントにとっては、時計がお守りで、モーツァルトのお守りは、指輪であったようです。

私のお守りは、ガラホ（ガラケーとスマホの中間的存在）と、ipadです。

次の章で、お守りとは一体何なのかを書いてみたいと思います。

## お守りの意味

---

お守りとは、自分のモチベーションを上げるためのものです。つまり、それによって、どんどん自分の力がアップしていくと、暗示をかけるのです。

スマホを大切にしている人は多いですが、私がガラホとipadを大事にするのは、人間関係の構築や、自分を楽しませてくれるツールだからではなく、自分が仕事にしたいと、また、一生の仕事だと思っている、書くことを、助けてくれるからです。

しかし、書くときにいちばん使っているパソコンには、不思議なくらい、何も感じません。何故なら、パソコンは、私にはとても難しく、使いこなせてはいないからです。

## コンパクト

---

コンパクトに手の中におさまり、持ち歩くことができるものが、私の最大のお守りのイメージです。そして、自分の命運を左右するものです。

カントは、時間に正確に生きること、最大の実力を発揮できると思ったから、時計が大事だったのでしょう。モーツァルトは、ピアノを弾く指が要、ペンを走らせる指が大事だから、指輪をしていたのでしょう。

全て、自分のやるべき仕事のためです。人に幸せにしてもらおう結婚指輪など、本当の力を持たないのです。

自分で作る力、それこそがお守りの力を引き出すのではありませんか？

## 家

---

忘れてはいけない、もうひとつの、しかも、決してコンパクトでない最大のお守りは、家ですね。家の鍵、大事です。家があるから生きている、家を軸に仕事をがんばれるのですね。

もし、家に居場所がないのなら、どうか、どこかに居場所をつくって下さい。お守りは、大きいものも小さいものも、生きる拠点であり、そこからパワーをもらい、そのためにがんばれるものであり、がんばって生きるという概念が形になったものです。